

射水市大規模盛土造成地マップ

安全・安心なまちづくりを目指して

大地震の際に、谷や沢を埋めた造成地または傾斜地盤上に腹付けした造成地において、盛土と地山の境界面等における崖崩れや土砂の流出による災害が生じています。

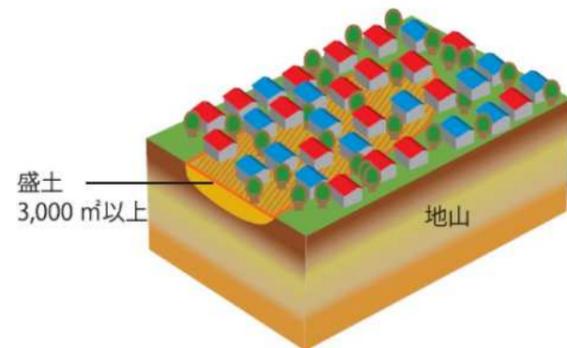
国ではこのような災害を未然に防止し、又は軽減するため「宅地耐震化推進事業」を創設し、調査の手法を示した「大規模盛土造成地の滑動崩落対策推進ガイドライン及び同解説」(以下「ガイドライン」という。)を策定しています。

大規模盛土造成地マップは、射水市がガイドラインに基づき実施した調査の結果を公表するものです。このマップは、大規模に造成された宅地が、お住まいの近くに存在しているかどうかを市民の皆様にご案内いただき、防災意識を高めていただくことを目的としており、また、市民の皆様と協働して災害の防止や被害の軽減に役立てていくために作成しました。

大規模盛土造成地とは

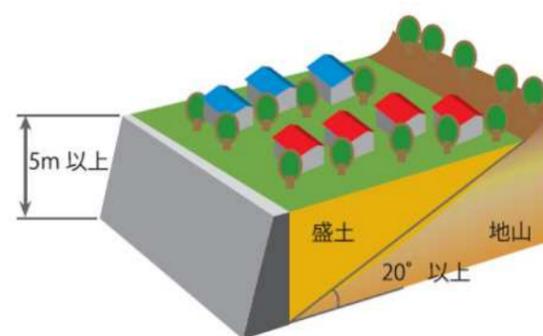
「谷埋め型」「腹付け型」の二種類の盛土があります。

谷埋め型



谷や沢を埋めた造成地で盛土の面積が3,000㎡以上のもの

腹付け型



傾斜地に盛土した造成宅地で盛土をする前の地盤の傾斜が20度以上、かつ盛土の高さが5m以上のもの

(画像はいずれもガイドラインより)

滑動崩落とは

地震発生時に、盛土全体又は一部が宅地造成前の谷底付近や盛土内部を滑り面として斜面下部方向へ移動することです。

谷埋め型



腹付け型



(画像はいずれもガイドラインより)

射水市の取り組み

射水市では、令和元年度にガイドラインに基づき、宅地の中で大規模盛土造成地の位置と規模の把握を目的とした調査を行いました。

市域のうち沖積低地、自然地形(山林・原野等)、農地や広場等の宅地以外の土地等を除外区域として判別し、調査対象区域を絞り込みました。

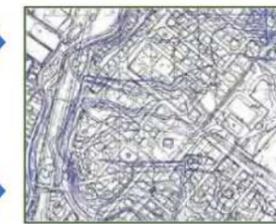
このマップは、宅地造成前の旧地形図及び旧空中写真を電子データ化し、最新の現況地形図と重ね合わせ、その標高差の差分解析により大規模盛土造成地の概ねの位置、規模を抽出したものであり、住宅の危険性についての評価は含まれていません。



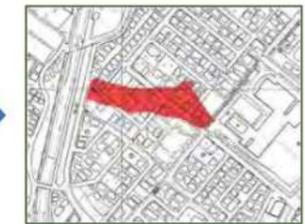
現況地形図



旧地形図・旧空中写真



重ね合わせによる判定



盛土造成地の位置の把握

(画像はいずれもガイドラインより)

大規模盛土造成地に関するQ & A

Q1. マップに示されている「大規模盛土造成地」は危険ということですか？

A1. 大規模盛土造成地マップは、市内に分布する大規模盛土造成地のおおよその位置及び種類を示したものであるため、マップに示されている位置が必ずしも危険というわけではありません。

Q2. 大規模盛土造成地に自分の土地が入っているが、土地の開発や建物の建築の際に何か特別な手続は必要ですか？

A2. 大規模盛土造成地に自分の土地が入っていても、特別な手続が加わることはありません。

Q3. 公表された大規模盛土造成地マップでは、自分の家の敷地が該当するか分からないのですが、より詳細な図はありますか？

A3. 5千分の1の縮尺の大規模盛土造成地マップが都市整備部建築住宅課の窓口で閲覧可能です。なお、このマップは各地形図等の重ね合わせで作成しているため、精度誤差が生じる可能性があることをあらかじめご了承ください。

【宅地耐震化に関するホームページ】

宅地防災 / 国土交通省

URL:<https://www.mlit.go.jp/toshi/web/index.html>

【お問合せ先】

射水市 都市整備部 建築住宅課

〒939-0292 富山県射水市小島703番地

TEL:0766-51-6683 FAX:0766-51-6696

URL:<https://www.city.imizu.toyama.jp/>

令和2年1月作成

射水市 大規模盛土造成地マップ

このマップは、大規模盛土造成地の概ねの位置と規模を示すものであり、マップに示された箇所が地震時に必ずしも危険というわけではありません。また、大規模造成地の抽出は沖積低地、自然地形(山林・原野等)、農地や広場等の宅地以外の土地等を除外区域として判別し、宅地のみを対象として実施しました。

凡 例	
	大規模盛土造成地
	行政界

大規模盛土造成地

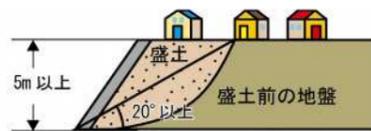
谷埋め盛土

谷を埋め立てた宅地で、盛土の面積が3,000㎡以上の盛土造成地



腹付け盛土

傾斜地に盛土をした宅地で、盛土をする前の原地盤面の傾斜が20度以上で、かつ盛土の高さが5m以上の盛土造成地



(大規模盛土造成地の変動予測調査ガイドラインの解説より)

